

公益社団法人松阪青年会議所
2018年度 基本運動方針

総務委員会

委員長 吉池 将

《委員会スローガン》

組織力の向上

《基本運動方針》

松阪青年会議所は63年という長きに渡り「まち」の為「ひと」の為に活動を行ってまいりました。63年という歴史の中には、先輩諸兄が様々な壁を乗り越え新たなものを作り続けるという弛まぬ努力があり、一つの方向性に向かい続けたからこそ継続し続けている団体なのだと確信します。そして、公益団体と変化をしてからは市民の方々から常に行動を見られる立場となり事業内容や例会の行い方も変化してまいりました。今後、青年会議所が多くの方々から「まち」に必要な団体であると認めて頂く為にも正会員一人ひとりが行動と言動に責任を持ち活動を行っていく必要があると考えます。

総務委員会はすべての事業、例会が決定致します理事会、そして総会の運営を任されております。まず、我々から正会員として正しい姿を示すことで正会員一人ひとりの行動に責任感を持って頂けると考えます。また、LOM全体の予算を把握するとともに各事業の予算書、決算書について各委員会と連絡を密に取り会計処理の細部まで審査いたします。そして、担当致します1月例会、8月例会、12月例会では本年度のスローガンを基に行われます運動が、第一歩から正会員一人ひとり足並みを揃えて結束し同じ方向に向かい活動して最終最後まで邁進していく例会を執り行います。

また、青年会議所運動をより多くの方々に周知し魅力を発信することで我々と活動を共にする同志が一人でも多く募る様に会員拡大にも精一杯取り組ませていただきます。並びに、出向者の方々へしっかりと支援し配慮に務める所存です。

最後となりますが、総務委員会一同全力で各例会、各事業、各会議に取り組ませていただきますので、皆様からのご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。